

第11回 親鸞賞 記念シンポジウム

親鸞賞の輝ける軌跡 — 日本文化への貢献 —

令和2年

12月3日 木

午後3時～午後5時30分

入場無料

定員先着 250名

会場

東山浄苑東本願寺 ^{かえ} 嘉枝堂（京都市山科区上花山旭山町 8-1）

※当日は臨時バス（無料）を運行。詳しくは裏面をご覧ください。

第1部 授賞式

第2部 記念シンポジウム

記念講演

一般財団法人本願寺文化興隆財団

理事長 大谷 暢順 師

シンポジウム

●選考委員

加賀 乙彦 氏（作家） 中西 進 氏（文学者）

沼野 充義 氏（文学者）

●受賞作『グッドバイ』（朝日新聞出版刊）

著者 朝井 まかて 氏（作家）

お申込み

（一財）本願寺文化興隆財団内 親鸞賞係 まで
TEL **075-551-3007**（9:00～17:00 無休）

お問合せ

FAX **075-525-2095**（24時間受付）

※裏面の FAX 申込用紙をご利用ください



新型コロナ
ウイルス感染症
対策について

- 本イベントは新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施します。
- ご来場の際はマスクの着用をお願いします。 ・体調がすぐれない場合や発熱、咳の症状のある場合はご来場をお控えください。
- アルコール消毒液を受付に設置しますので、ご使用ください。
- 今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、本イベントの一部あるいは全部を変更または中止させていただく場合があります。



親鸞賞

一千数百年に亘って日本人の心を育み、日本文化形成の少なからぬ部分を担ってきた仏教の、その頂点に位置する名僧のなかでも、親鸞聖人はひとときわ輝く存在であります。

この度、一般財団法人本願寺文化興隆財団は、親鸞聖人の遺徳をしのび顕彰するため、又、これからの日本の文化と文学の振興に寄与するため、既刊の作品の中から、日本人の精神文化に深く根差した、すぐれた文芸作品(フィクション)を対象とする、「親鸞賞」を創設しました。

親鸞聖人を顕彰するための文学賞ではありますが、特に仏教に限るのではなく、私たち日本人が如何に生きてゆくべきか、その指針となり得るすぐれた作品に贈呈したいと思っております。

一般財団法人本願寺文化興隆財団 理事長 大谷暢順



《親鸞賞選考委員》



加賀 乙彦 氏 (作家)



中西 進 氏 (文学者)



沼野 充義 氏 (文学者)

《第11回親鸞賞受賞者》

あさい
朝井 まかて氏 『グッドバイ』 (朝日新聞出版刊)



©朝日新聞出版

海はこの世界の、どこにでもつながっている！
異国を相手に茶葉交易に乗り出した伝説の女商人・大浦慶の激動の生涯を描く長篇歴史小説

◆プロフィール◆

1959年大阪府生まれ。2008年小説現代長編新人賞奨励賞を受賞しデビュー。2014年に『恋歌』で直木賞、『阿蘭陀西鶴』で織田作之助賞、2015年『すかたん』で大阪ほんま本大賞、2016年『眩』で中山義秀文学賞、2017年『福袋』で舟橋聖一文学賞、2018年『雲上雲下』で中央公論文芸賞、同年『悪玉伝』で司馬遼太郎賞、2019年、大阪文化賞を受賞。近著に『輪舞曲』『類』等。

FAX お申込み用紙 (FAX : 075-525-2095)

以下に必要事項記入の上、FAX で送信下さい。
(お電話でもお申込みいただけます。電話番号は本チラシ表面のとおり)

(ふりがな) お名前	()
お電話番号	- -
ご住所	〒 - -
参加希望人数 (ご本人含む)	名

ACCESS

◇会場の東山浄苑東本願寺へは、タクシー
または当日運行の臨時バス(無料)をご利用下さい。

臨時バス (無料/定員有)

京都駅前
臨時バス停留所
本願寺真無量院前
(14:00 発/14:15 発)

→ 五条京阪前 → 東山浄苑
東本願寺
(14:10 発/14:25 発)

